

# 公募等実施事項報告書（資金分配団体）

**事業名:** 新型コロナ禍における緊急被災者支援事業  
**資金分配団体:** 公益財団法人佐賀未来創造基金  
**実行団体数:** 14 団体  
**実施時期:** 2021年2月～2022年3月  
**事業対象地域:** 九州全域  
**事業対象者:** 災害支援団体

Version 1.0

日付: 2021年6月11日

## I. 公募～選定の結果

単位: 件

選定予定件数-計画	申請事業数-実数	申請団体数-実数	選定事業数-実数	選定団体数-実数
10～15	19	19	13	13
1～3	1	1	1	1

1 期

2 期

## II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間 ※告知開始～募集受付開始 (単位: 日)	募集の受付期間 (単位: 日)	募集の告知媒体の種類							
21	21	<input checked="" type="checkbox"/>	HP	<input checked="" type="checkbox"/>	SNS	<input type="checkbox"/>	チラシ	<input checked="" type="checkbox"/>	関連組織を通じた広報
		<input checked="" type="checkbox"/>	プレスリリース	<input type="checkbox"/>	その他	具体的な方法 ( )			
<b>実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと</b> ・コンソーシアム5 団体を通じて、各県担当者や各県中間支援などに幅広く声をかけた ・特に従前より活発な活動をしている災害支援団体には、丁寧に申請検討の提案をした									
<b>実行団体の募集の課題</b> ・コロナ禍であるため、オンラインでのみの説明会となり、リアル説明会ができなかった点									
公募に申請した団体の情報を、募集終了時に Web サイト上で公表しましたか。対応状況の詳細と合わせて記載ください。									
はい	<a href="https://saga-mirai.jp/new-coronavirus-response-grant-aid-disaster/#conso">https://saga-mirai.jp/new-coronavirus-response-grant-aid-disaster/#conso</a>								

## III. 公募プロセス/申請団体の審査

単位: 人

審査委員の人数 (合計)	内訳:外部委員	内訳:内部委員
6	6	0

<b>審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。</b> ・各県の災害支援状況を把握している行政の担当者と、九州全域で災害対応をしている青年会議所をいれることでバランスをとった ・協力団体に他県での災害経験のある方にはいっていただき、審査のポイントなどを作成した
<b>審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。</b> 事前に、資金分配団体・審査員との兼務の確認、それぞれの実行団体の事業計画書記載の団体同士の役員兼務を確認し、防止措置として講じた
<b>申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。</b> 規程類の公開状態をWebと相対で確認し、不足する部分について、採択後速やかに整備する点も確認をした。

申請団体との面談(必要に応じて現地調査)はどのように実施しましたか。
コロナ禍をふまえて、申請前後に、オンラインを中心に個別面談を実施した
申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと
申請受付後、申請内容について、第三者の外部審査員が内容を把握できるよう、又、申請書の意図を正確に確認するため、コンソーシアム団体内部での確認や、申請者への質問をし、また、審査員については、審査会前に事前審査表を配付し、事前に申請内容について確認をし、申請内容の相互理解を深めた
申請団体の審査で感じた課題
緊急という性質より、早期に内定をだせるプロセスで構築をした結果、実行団体の事業計画の全てが、伝わったかどうかが課題であった。

#### IV. 公募の設計/申請団体数・実行団体の事業内容

(申請団体数)	
実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通り	従前からの掘り起こしと、行政やメディア、コンソーシアムを通じた周知の結果。
(申請団体の事業内容)	
設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容(目標、対象者、地域、活動、金額、規模等)は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通りだった	事前に各県にヒヤリングした状況をふまえた事業設計であったため、ほぼ想定通りの事業内容でした。

#### V. 選定結果の通知及び公開の状況

(選定結果の通知)	
実行団体に選定しなかった申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。	
はい	メールでの通知と、不採択理由の書面通知を実施した
(選定結果の公開)	
選定結果について、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://saga-mirai.jp/%e4%bc%91%e7%9c%a0%e9%a0%90%e9%87%91/corozui/sinsei_naitei_kouhyou-2/">https://saga-mirai.jp/%e4%bc%91%e7%9c%a0%e9%a0%90%e9%87%91/corozui/sinsei_naitei_kouhyou-2/</a>
(規定額の公開)	
ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類を、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/">https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/</a>
(人件費水準の公開)	
経費に人件費が含まれる場合、当該人件費の水準をwebサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/">https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/</a>

#### VI. 公募の過程に伴う事業再検討結果(事前評価)

##### 課題の分析(ニーズの分析)

課題の妥当性: 助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
事業対象の妥当性: 助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分

事業設計の分析（セオリーの分析）

事業設定の妥当性：助成申請時に想定していた事業設定に対し、変更が発生した部分

見直し後の事業目標 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態

見直し後の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び その目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

今回の事業実行を通じた目標	目標値/目標状態

VII. 広報実績（公募関連以外）

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	1月24日 西日本新聞 <a href="https://www.nishinippon.co.jp/item/n/684188/">https://www.nishinippon.co.jp/item/n/684188/</a>
広報制作物等	無	
報告書等	無	

VIII. ガバナンス・コンプライアンスの確認

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	ヘルプライン窓口を設置している
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。	はい	
6. 実行団体に規程類の整備について説明をしましたか。	はい	